

**大阪府福祉基金地域福祉振興助成金**  
**(地域福祉推進助成・施策推進公募型事業)**

**「地域におけるヤングケアラー支援の  
モデル事業」**

**令和4年度 事例集**

1	社会福祉法人 八尾隣保館	学習支援 びはーと	1
2	一般社団法人 こもれび	「夢をあきらめない！」～ヤングケアラーと社会をつなぐ架け橋事業～	2
3	NPO 法人 やんちゃまファミリーwith	「ほっといたらアカン！子どもが子どもらしく生きる」を支える	3
4	特定非営利活動法人 み・らいず2	ヤングケアラーの子どもたちが「自分」を優先し社会参加できる プロジェクト	4
5	特定非営利活動法人 ふうせんの会	ピアサポートの力によるヤングケアラー支援のモデル構築事業 ～大阪府枚方市を中心としたヤングケアラーの居場所の創出と啓発～	5

※各団体で作成いただいた内容を取りまとめました。

# 学習支援びはーと

～ヤングケアラー支援や学習支援を通じた新たな子どもの居場所の創生



団体名: 社会福祉法人 八尾隣保館

子どもたちが“自分らしく”楽しく過ごす居場所を目指して、アフターケアを含む子どもの居場所支援や地域への取組みとして、学習支援+居場所+相談を用意しています。

## ① 活動の紹介

- 毎週水・金に学習支援を実施しています。勉強の後には、大人も子ども一緒になってお菓子を食べておしゃべりしたり、レクをしています。
- 毎月誕生日会や季節に応じたイベントを実施しています。夏には夏祭り、秋はお月見、冬はクリスマス会を子どもたちと一緒に楽しみました。
- 11月に中学3年生には進路相談を行い、進路や勉強での悩みを聞き取りました。
- 同時期に中学1～3年生に対して、学校や家庭での困りごとや不安なことなどの生活相談も実施しました。

## ③ 子どもたちの様子

- ・リラックスした環境を作ることで、会話が弾み、笑顔が増えたように思います。
- ・話をする機会が増えたことで、学生スタッフとの関係性も深まり、自分から話をしてくれるようになってきました。

## ② 大切にしていること

- 学習支援とヤングケアラー支援でメリハリを静かな環境の中での勉強と音楽を流してリラックス空間を作っています。
- 情報共有で見守り強化  
社協や行政、小・中学校と連携し、日々、情報共有をしています。
- 母子生活支援施設のノウハウを活かす  
世帯の状況を理解して、子どもの気持ちを日々受容するようにしています。

- ・カフェタイムがあることで、勉強とおしゃべりとメリハリのついた時間を過ごせるようになりました。
- ・子ども同士のつながりもでき始めました。

お菓子を食べながら  
学生スタッフとゲームをする様子



学生スタッフのみなさん

行政や関係機関との連携による見守り

子どもが自分らしくいられる居場所

ヤングケアラー支援

家庭や友達関係、進学についての相談

学習支援や様々な大人とのコミュニケーション

# 「夢をあきらめない！」 ～ヤングケアラーと社会をつなぐ架け橋事業～

団体名：一般社団法人こもれび

さまざまな社会活動を通して”子どもたちとともに歩み、ともに成長する！”。そのような活動場所を提供しています。

## ① 活動の紹介

- ・放課後の居場所【Pour moi(ぱーもあ)】では、隔週の火曜日と月1回の休日に、クッキングや陶芸、芋ほりなどのさまざまな体験活動を実施しています。
- ・音楽体験【KMC】では、月1回の休日に、楽器や歌などの音楽活動を通して子どもとの心の交流を図っています。さらに発表の場として年間一回音楽祭を実施しています。

## ② 大切にしていること

Pour moi、KMCともに、自分自身の時間を大切にしてもらうことに加え、さまざまな体験活動を通して、子どもたちの日々の活動意欲を引き出すことを目指しています。  
スタッフには社会福祉士等の有資格者も多く、子どもたちとの交流の中で発見した困りごとや課題について、関係機関に素早くつなげて連携を図ることにも注力しています。

## ③ 子どもたちの様子

Pour moiでは、同じ活動をスタッフや他の子どもと行なうことで、仲間意識や所属感を持ちやすくなっています。スタッフとはもちろん、他の子ども同士でも体験をしながら雑談をたのしんでいます。子どもたち自身、初めての体験をすることも多く、新たな社会との出会いや発見が得られています。

KMCではプロのシンガーやギタリストから、さまざまな楽器や歌も教えてもらい、子どもたちは回を追うごとにメキメキと上達しています。月1回講師やスタッフから、「すごいね、うまくなったやん」と声をかけられることにより、自分に自信を持ち、学校や学習など音楽以外の活動への意欲も高まってきている子どもたちもいます。

いずれの活動においても、子どもが“自分を受け入れてくれる大人”と出会い、安心感をえられることで、将来の夢や困りごとなどを言葉で伝えられるようになってきていると思います。

Pour moiの子どもたち



ギター教室の子どもたち



# 「ほっといたらアカン！子どもが子どもらしく生きる」を支える

団体名：NPO法人やんちゃまファミリーwith

コロナ禍で顕在化した「子どもを取り巻く課題」に寄り添い、心の声を聴き、向き合う覚悟を決める。

## ① 活動の紹介

- ・自治体や社協、元教員やSSW等と連携し、毎月、研修会や勉強会を行う。
- ・毎週金曜日「相談支援窓口」を開設。
- ・直接的支援としては長期休みの朝の送り出しや家事サポート応援等を行う。
- ・1月は啓発フォーラムを開催予定。

## ② 大切にしていること

- ・いろいろなツールの中で子ども達と出会うが「目の前の子どもと親をそのまま受け入れる」こと。
- ・親子にとって安心・安全な信頼関係を築くこと。

## ③ 子どもたちの様子

- ・「子どもの居場所」の役割はとても大切で、子どもが自分を出せる場であったり、異年齢の子どもやいろんな大人と関わることが出来る場である。
- ・しかし、コロナ禍において、「子どもの居場所」ができなくなり、宅食訪問や物資の提供に切り替える中で、居場所では気づかなかった子どもたちの困りごとに気づくことができた。
- ・そこで、「子どもを取り巻く課題」に向き合うと決め、いろんなツールで毎週訪問をしている。
- ・訪問を繰り返すうちに、子どもが外で「来た来た～」と出迎えてくれたり、その日にあった出来事を沢山話してくれたり、近況報告もしてくれるようになった。



# ヤングケアラーの子どもたちが「自分」を優先し 社会参加できるプロジェクト

団体名:特定非営利活動法人み・らいず2

ヤングケアラーの子どもたちが、ケアのことも大切にしつつ、自分の時間や将来のことを大切にできるように、ケアから少し離れて、ゆったりしたり、気になる将来のことを考える機会を提供します。

## ① 活動の紹介

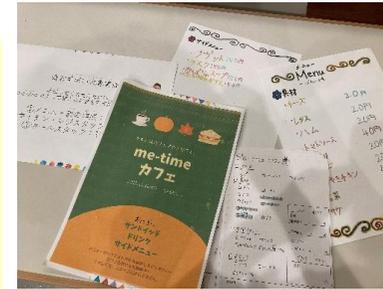
- ・自分時間プロジェクト
- ・あきらめずにチャレンジしていいプロジェクト
- ・学校との連携
- ・地域での勉強会(シンポジウム)の開催

## ② 大切にしていること

- ・「自分」のためだけの時間を持つ
- ・子どもらしい時間を過ごす
- ・「自分で選ぶ」体験。
- ・困りごとをすぐに拾えるよう相談員を配置していること。
- ・「ななめうえ」の関係(大学生)

## ③ 子どもたちの様子

- ・当初は希望が出なかったが、活動の中ではじめての事に「やってみたい」とチャレンジできた
- ・「いただきます」「ありがとう」などの自主的な言葉かけがでてきた
- ・きょうだいが分かれてそれぞれ自分の好きな活動を選びあそぶ姿がみられるようになった
- ・当初は仕事の話に興味を示さなかったがカフェ体験やアルバイト経験談を聞くことで、しごとに関する話もできるようになってきた。



カフェ体験



自分時間を過ごす



動画作成の仕事を知ろう！

# ピアサポートの力による ヤングケアラー支援のモデル構築事業

団体名:特定非営利活動法人ふうせんの会

ヤングケアラー・若者ケアラーに心がつながる居場所を届ける

## ① 活動の紹介

### ■ピアサポート事業

・「つどい」:対面、オンライン併用の元・現ヤングケアラーたちが語り合える場(毎時30人程度参加)

・「ふうせんカフェ」:オンラインでの少人数で元・現ヤングケアラーたちが語り合える場(定員5名)

## ② 大切にしていること

### ■グラドルールの設定

1,ここで聞いたことは外で話さない。  
(この場限りですべて忘れる!)

2,他の人の話を否定しない。

3,他の人の話をさえぎらない。

4,話したくない時は話さなくて良い

## ③ 参加者の様子

### ■事後アンケートより

・「初めてヤングケアラーとして過ごしてきた気持ちを少し表に出すことができた。」

・「初めて自分のケア経験を人と比べずに語れました。」

・「ケアの経験をここまで安心安全な場でお話できたのは初めてだった。」

・「地方に住んでいるので、オンラインという場を設けてもらえて、とても嬉しかった。」

・「時間が短かったため、もっと長い時間お話出来たらなと思った。」

